

スクールカウンセラー布施先生のひとくちコラム

保護者の方は、日々、お子様に「良い子になってほしい」「良い人生を歩んでもらいたい」と望んでいるのではないのでしょうか。その反面、子どもが親に望むことは、「自分のために何かしてほしい」ということよりも「自分のことをわかってほしい」ということの方が多いと思います。しかし、それはどんな行動も認めてほしいということではありません。間違った行動は否定した上で、基本的な考えや、ルール等の枠組みをしっかりと教えてあげることによって子どもは安心できます。大人の自己満足の道具として押し付けられた対応ではなく、自分の問題解決能力を信じて任された対応だと思わせることが大切です。

子どもが前向きな生活姿勢が持てる様なエネルギーを与える関わり方のポイントをお伝えさせていただきます。

①子どもの人生は子どもが主人公である

何事も親が先回りしないで自分で考えさせてください。質問や命令口調ではなく自分で判断できる言い方に変えてみてください。

②子どもの世界を子どもの目で見ると

子どもが話してきたら、片手間ではなく子どもの方を向いて真剣に聞いてあげてください。その際は、評価はせずに、そのままフィードバックしてあげてください。

③子どもが試行錯誤することを認める

失敗や試行錯誤を通して子どもは自立していきます。悩むことを悪いことではないので、支持してあげてください。子どもと共に揺れ動く様に心がけてみてください。